

一見蘚類ト間違ヘ易イ苔類 (一)

コトヲ期シテキルガ然シ大體ハ三型ニ分レ一ハ羽裂型、一ハ扇裂型、一ハ三裂型デアツテ中ニハ其中間ニ立チ其兩者ヲ連繫スル中間型ノ者モアル

〇一見蘚類ト間違ヘ易イ苔類 (一)

廣島文理科大学 理學士 堀 川 芳 雄

我邦内ニ産スル苔蘚類ハ世界中デモ決シテ少クハナク從ツテ苔蘚兩類ノ區別ヲ文字ダケデイクラ詳シク表現シテモ實地ニ採集ヲ試ミル人ニ取ツテハソレ程有益デハナイコトガ多イ、殊ニ我國デハ蘚類ト考ヘラレテ一般ノ採集ヲ逃レテキル苔類ノ一部類ガアツテソノ種類ハ中々ニ多ク今後日本産苔類ノ研究ハ分類上カラモ分布ノ方カラモ主トシテカ、ル部類ノ探索ニ俟ツコトガ必要デアリ、又コレヲ種類ヲ能ク識ルコトニヨツテ蘚類ト苔類トノ識別モ明白ニスルノニ役立タセンガ爲メニ今後寫眞ヤ圖ニヨツテ述ベルコトニスル

〇ぐくしはねづけ *Plagiochila pulcherrima* HORIKAWA

植物體ハ幾回モ分岐シテキルノデ一見蘚類ノひめくじやくごけト間違ヘ易イ美麗ナ一種デ最初日向ノ柳岳ト阿里山カラ採ラレタガ今デハ土佐・紀伊ニモ分布スルコトガ解ツテ來タ

葉ノ縁邊ハ強ク卷イテキテ五—八ヶ許リノ齒ガアル、葉ノ細胞ハ中央部デ幅一六μ長サ二二μ位デ細胞膜ハ角隅ニテ特ニ肥厚スル、腹葉ハ殆ド基部迄深ク二分スル、早合異株デ多ク樹皮上ニ生ズル

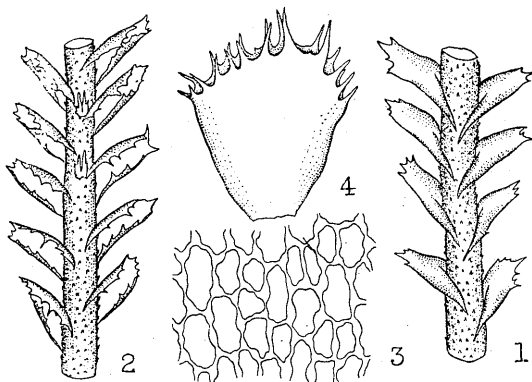
〇Herberta longifissa (Sw.) HORIKAWA

植物體ハ剛強デ黒味ヲ帯ビタ赤色ヲ呈シ多數ニ分岐ヲナシテ濕氣ノアル樹皮面ヤ急傾斜ノ岩面ニ密生スルモノデ一寸苔類ノ感ジガシナイ、通常六糧位ノ長サニ達スルガ生エル場所ニヨツテハ更ニ小サイモノモアル、莖ノ横斷面ヲ作ツテ見ルト皮層ニ當ル處ハ四—五層ノ膜ノ厚イ黒褐色ノ細胞カラ出來テキル、背葉ハ密ニ着イテ腹

アル、注目ニ値スルコトハ葉ノ基部カラ先端ノ方ヘカケ假中肋トモ呼ブベキ長形ノ細胞ノ集リガ走ツテキルコトデ之ハ先端近クデ自然ト消ヘル、背葉ノ細胞膜ハ異常ニ肥厚スルノデ細胞ハ星形ヲ呈スル、假中肋以外ノ細胞ハ一五―二七 μ 位ノ大サデアル、腹葉ハ背葉ニ似ルガ稍小形デ二片ハ眞直デ曲ツテキナイ、今日迄下野・相模・伊勢・阿波・伊豫・土佐・日向等ノ山地及ビ臺灣ノ阿里山・大武山カラノ材料ヲ手許ニ所持シテキルガ海



第一圖(甲)

Plagiochila pulcherrima HORIKAWA

第一圖(乙)

Plagiochila pulcherrima HORIKAWA

1. 莖ノ一部(表面) 2. 同上(裏面) 3. 葉ノ細胞 4. 花被

面ノ方ヘ
向ヒテキ
ル、針ノ
尖デハバ
シテ檢鏡
スルト基
部ハ幅最
モ廣ク大
體中央ア
タリ迄深
ク二分シ
テキテ二
片共先端
ハ長ク尖
リ全縁デ

シク四―五回位羽狀ニ分岐ヲスルガ全體トシテ水濕ヲ含ムクシタルノデ初學者ハ野外デ

中々大形ノモノデ一〇糰ヨリ長イモノモ少ナクナイ、規則正

○ *Ptilidium Bisseti* (Mitt.) Evans

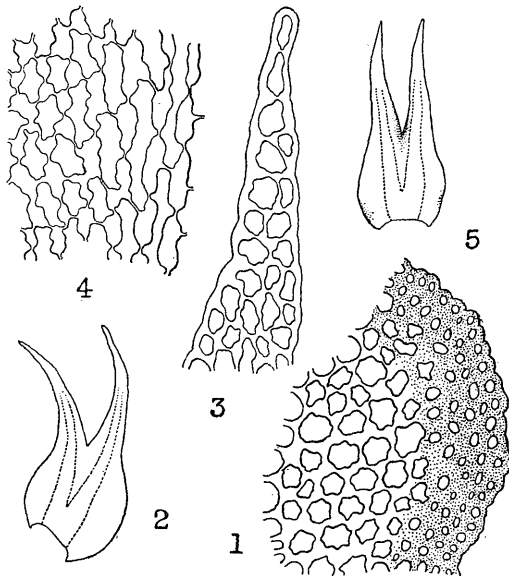
外デハヒマラヤ・サモア・タヒチ・ハワイノ諸島ニ分布ス
ルコトガ解ツテキル



第二圖 (甲)

(實物大)

Herberta longifissa HORIKAWA

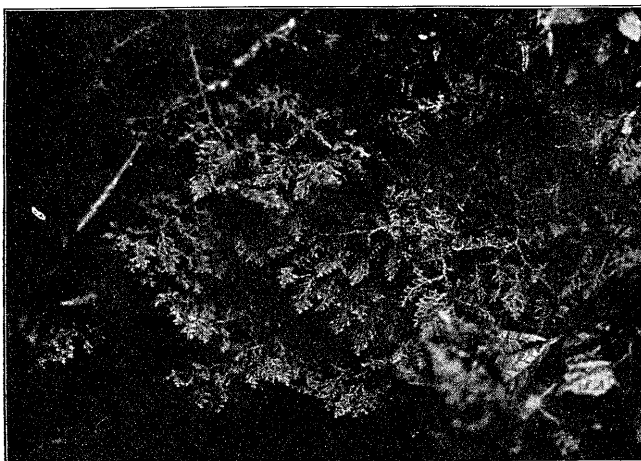


第二圖 (乙)

Herberta longifissa HORIKAWA

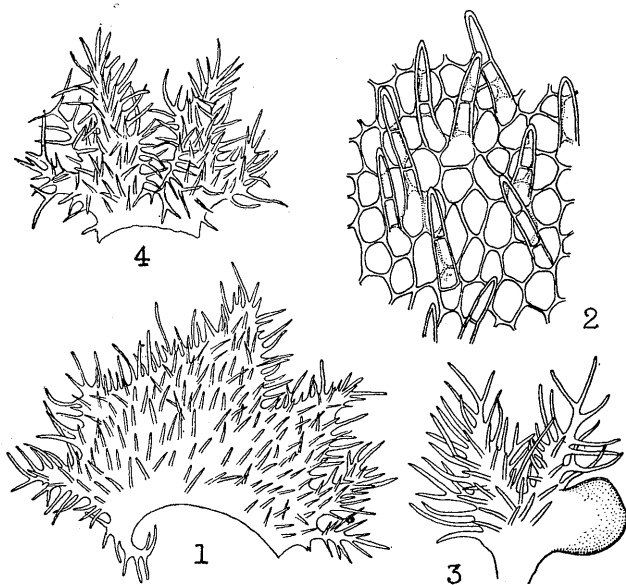
1. 莖ノ横斷面ノ一部 2. 背葉 3. 背葉裂片ノ先端部
4. 細胞 5. 腹葉

tomentella ト識別シテ採集スルコトハ困難デアラウ、處ガ本種ノ軸ハ黑色デ檢鏡スルト背葉ハ圖ニモ示ス通り明ニ葉身トモ云フベキ部分ガアツテ大體中央邊迄二分シ各片ハ更ニ夫々三分シテキル即チ一枚ノ背葉ハ都合大



第 三 圖 (甲)

Ptilidium Bisseti EVANS (自生地ニテ撮影)



第 三 圖 (乙)

Ptilidium Bisseti EVANS

1. 背葉 (背面) 2. 1ノ一部 3. 水囊ヲ着ケタ
背葉 (背面) 4. 腹葉

杜仲軒緒鞭夜話 (十七)

小ノ六片ニ分レテキルコトニナル、何レノ片モ可ナリ長イ齒毛ヲ具ヘテキルガ尙ホ驚クベキコトニハコノ齒毛ハソノ背面一杯ニ生エテキルコトデ而モコノ齒毛ハ二―三ケノ細胞カラナツテキルコトデアル、更ニ一層面白イ特徴ハ第三或ハ第四回目ノ小枝ニツク背葉ノ最内面ノ一片ハ兜狀ノ水囊ニ變形シテキルノガ見受ケラレルコトデアル、カヤウニシテコノ植物ハ水分ヲ吸收シ易ク一旦吸タレバ容易ニ失ハレナイ、葉ノ細胞ハ中央部デ幅二三μ長サ三三μ位デ透明ニ近イ、腹葉ハ背葉ノ約半分位ノ大サデ深ク二裂スルガ各片ハ更ニ鋭尖ノ長小片ニ分レル、縁邊ヤ外面ニ多數ノ齒毛ヲ有スルコトハ背葉ト全ク等シイ、本種ハ一八七九年ビセツト氏ニヨリ富士山麓デ初メテ採集サレソノ材料ニ基イテミッテン氏ガ *Mastigophora Bisseti* トシテ一八九一年ニ發表シタモノデ其ノ後コノ植物ヲ高知師範學校ノ郷野氏ガ土佐ノ工石山ニ得テ米國ノホルチンゲル氏ニ送ツタガホ氏ハ鑑定スルコトガ出来ナイデエール大學エヴハンス教授ヘ送ツタノデ同教授ニヨリ *M. Bisseti* Mitt. デアルコトガ解ツタノデアルガ *Mastigophora* 屬ニ見ラレタ特徴ヨリモ *Ptilidium* 屬ニ近イコトガ調べラレテ現在ニ及ンデキルノデアル、兎ニ角珍奇ナ特徴ヲモツ有名ナ日本固有ナ一種デ今日迄本州・四國・九州ノ深山溪谷カラバカリ知ラレテキル

○杜仲軒緒鞭夜話 (十七)

久内清孝

○しぎんからまつノ心皮ノ色

しぎんからまつヲ *SIEBOLD ET ZUCCARINI* 兩氏が記載命名シタ時ノ材料ハ生品デナカツタ爲カ其心皮ノ色ニ言及シテ居ナイ勿論ソナ事ハ小サイ事實デアルカモ知レナイガ植物ヲ生物トシテ取扱ヒ觀賞スル場合ニハ極メテトハ言ハナイガ相當ニ必要ナコトデアル即簇生モル白色ノ雄藥束ノ中央ニ心皮ノ紫色ナル雌藥ガ坐スル爲コ